

## 平成 30 年 7 月豪雨に係る災害復旧事業等の進捗状況について

技術企画課  
道路整備課  
河川課  
砂防課  
流域下水道課

### 1 要 旨

平成 30 年 7 月豪雨により甚大な被害が発生した公共土木施設の災害復旧事業については、3 か年での復旧完了を目指しているところであるが、被災箇所が多い地域を中心に事業進捗に遅れが見られることから、進捗状況と取組等について報告する。

### 2 災害復旧事業の進捗状況

災害復旧事業として採択された、県が管理する公共土木施設 2,550 箇所（査定決定箇所数）の令和 2 年 3 月末時点での進捗状況は、次のとおりである。

（単位：箇所）

建設事務所（支所）等	災害復旧事業被災箇所数（査定決定ベース）※1				
		発注済※2		完成	発注予定
			契約済		
西部	479	313	302	84	166
呉	222	176	168	47	46
廿日市	11	11	11	11	-
安芸太田	30	30	30	27	-
東広島	517	265	250	104	252
東部	450	450	450	247	-
三原	459	299	295	151	160
北部	143	132	132	97	11
庄原	236	172	172	100	64
広島水道	3	3	3	3	-
全体 （R 2.3 月末時点）	2,550	1,851 (73%)	1,813 (71%)	871 (34%)	699 (27%)
参考 （R 2.2 月末時点）	2,550	1,781 (70%)	1,752 (69%)	720 (28%)	769 (30%)

（※1）県が管理する公共土木施設で工事費 120 万円以上の災害復旧事業として採択されたもの。

（※2）公告または指名通知済のもの。

《令和 2 年 3 月に完成した災害復旧事業の一例》



（主）下蒲刈川尻線（呉市下蒲刈町）



（主）瀬野川福富本郷線（東広島市河内町）

### 3 事業進捗上の課題

- 被災箇所が多い地域では、地域内の発注工事量が多く、現場に配置が必要な主任（監理）技術者の融通や下請業者の確保に時間を要していることなどから、依然として不調・不落の割合が高い地域がある。
- 契約済工事においても、全国的に頻発している災害による人手不足などから、技能労働者の不足等により工事の稼働率が低下するなど、事業進捗に遅れが生じている。

### 4 事業進捗の見通しと取組

主任技術者の工事兼務制限の緩和等、受注環境の整備を図ってきたところであり、令和2年3月末時点で約7割の工事が契約済となった。

未契約箇所の計画的な執行、契約済工事の事業進捗の回復を図るため、様々な取組を実施している。

（主な取組内容）

- ・ 下請や技能労働者確保に向け、遠隔地からの参加に係る経費の計上や関係団体を通じた周知等により、県外事業者の参加を拡大させる取組を強化した結果、一部地域において隣県からの工事参加が行われており、今後更なる拡大を図る。
- ・ 毎月の事業進行管理により把握した地域毎の状況を踏まえ、適切な工事発注時期の選定や、地域内事業者の手持ち工事量を踏まえた発注ロットの調整を行うことで、県全体として効率的な執行を図る。
- ・ 事業者の計画的な受注を支援するため、残る約3割の工事の発注見通しを3月下旬に公表。

### 5 改良復旧事業の進捗状況

被災箇所が連続するなど再度災害防止の観点から、県が事業主体となり、一連で対策を講じる改良復旧事業については、5年以内での事業完了を目指しているところであり、進捗状況は次のとおりである。

区分	事業名	進捗状況（予定を含む）	
		用地	工事
道路	主要地方道 呉環状線【災害関連事業】	境界立会：令和2年2月～ 用地交渉：令和2年2月～	護岸工着手：令和元年12月 橋梁下部工・法面工等着手：令和2年3月
河川	沼田川及びその支川 【河川激甚災害対策 特別緊急事業】	境界立会：令和2年度～（予定） 用地交渉：令和2年度～（予定）	護岸工事発注：令和2年度（予定） 河道掘削（梨和川、仏通寺川） 工事着手：令和元年11月 堰改築工事：着手済み
	三篠川 【災害復旧助成事業】	境界立会：令和元年8月～ 用地交渉：令和元年12月～	一部工事着手：令和元年11月
砂防	ひよき川 【災害関連事業】	境界立会：令和元年5月～令和2年1月 用地交渉：令和元年6月～	1工区着手：令和2年3月 2工区着手：令和2年3月

《沼田川及びその支川【河川激甚災害対策特別緊急事業】の進捗状況（堰改築工事）》

